

令和6年度茨木市認知症施策

茨木市高齢者保健福祉計画（第10次）・介護保険事業計画（第9期）

基本目標1 お互いにつながり支え合える 施策（3）認知症施策の推進

国では、令和元年（2019年）6月に、「認知症施策推進大綱」（以下、「大綱」という。）が取りまとめられ、様々な取組が進んでおり、本市においても、大綱の趣旨を踏まえ、認知症の人やその家族の視点を重視し、「みんながやさしい街いばらき」をめざして取り組んできました。

令和6年（2024年）1月には「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。今後は国が策定する認知症施策推進基本計画の内容も踏まえて、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるように、認知症施策を推進します。

市内要介護者の状況（令和6年3月末現在）

項目	人数	
茨木市総人口	285,729人	
老年（65歳以上）人口	69,071人（高齢化率24.17%）	
要介護（要支援）認定者数	13,442人	
該当者数（割合）	認知症高齢者自立度Ⅱ以上	認知症高齢者自立度Ⅲ以上
	7,387人（54.95%）	3,549人（26.4%）

【具体的取組】

① 普及啓発・本人発信支援

認知症の人と関わる機会が多いと想定される小売業・金融機関・公共交通機関等の職員や人格形成の重要な時期であることも世代およびこれから認知症の人の介護を担う可能性のある中年期に向けて認知症の理解を促すため、認知症サポーター養成講座等開催への働きかけを行います。また、関係機関や介護事業所等と協力し、当事者の声を聞く機会を増やし、地域住民等に本人の想いを発信する支援に取り組むとともに、認知症の人やその家族が認知症施策の企画・立案や評価に参画することを推進します。

認知症に関する理解促進

・認知症サポーター養成講座（R5実績：58回）

認知症サポーター R6計画：29,000人 H20.6～R6.3.31：25,052人

・認知症月間を利用した周知・啓発

相談先の周知

・茨木市認知症総合支援事業HP

・市HPの更新

認知症の人本人からの発信支援

・認知症本人ミーティングの開催（R5実績：19回）

・アクションガイドブック（冊子）みんながやさしい街いばらき～もの忘れが気になったら～ 更新

重点項目

- ・キャラバン・メイトの活動を支援し、認知症サポーター養成を推進する。
- ・認知症の人の希望や意見を発信できる場を確保し、施策へ繋げる。

② 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

認知機能の低下がある人や認知症の人の早期発見・早期対応が行えるように、かかりつけ医・地域包括支援センター・認知症地域支援推進員・認知症初期集中支援チーム・市保健師等、特に認知症の初期段階の相談対

応を行う可能性の高い関係者間の連携強化に努めます。

介護者への支援としては、地域の誰もが集う“憩える場”「認知症カフェ（いばらきオレンジかふえ）」や介護者同士の交流の場である「家族教室」の周知に努め、介護者自身が他者との交流や制度の利用により介護の負担をひとりで抱え込むことがないように支援します。

早期発見・早期対応、関係者間の連携強化

・認知症地域支援推進員

医療分野 1人（H25～） 介護分野 1人（H28.10～）

・認知症初期集中支援チーム（チーム・オレンジいばらき）（H27.10～）

R5実績 受付 144件 初期集中支援 8件 チーム員会議 12回

・いばらき認知症サポートブック（認知症ケアパス）の更新

医療従事者、介護従事者等の認知症対応力向上の促進

・研修実施 R5実績：4回

認知症の人の介護者の負担軽減の推進

・いばらきオレンジかふえ（認知症カフェ） R6計画：27カ所（R6.4月現在24カ所（専門型14・地域型10））

・家族教室 R6計画：12回（R5実績：14回）

重点項目

- ・医療機関を始めとした関係機関との連携
- ・いばらきオレンジかふえの推進
- ・家族教室の継続開催

③ 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

行方不明となった際の早期発見や事故の防止を図る「茨木市認知症高齢者見守り事業」の普及と利用促進を行い、認知症の人が安全に外出できる地域の見守り体制づくりを進めます。

また、認知症の状態に応じて、市医師会が中心となり構築された医療機関や介護サービス事業者、行政が協働し支援するシステム（茨木市モデル※）を基盤に、引き続き認知症高齢者や家族等への支援に取り組むほか、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、地域で活動する人材の育成といばらきオレンジかふえを始めとする認知症の人の「居場所づくり」の促進に努めます。

※茨木市モデル：平成20年度（2008年度）から茨木市医師会高齢者対策委員会を中心に、かかりつけ医による認知症の早期発見・早期対応を目的とした認知症地域医療ネットワークづくりに取り組んで構築された地域連携システム。

認知症バリアフリーの推進

・茨木市認知症高齢者見守り事業（茨木童子見守りシール） 登録者数（H28.10～R6.3.31） 301人

・行方不明高齢者等捜索支援事業（いばらき版みんなでさがそうSOS事業）（R5実績：2件）

・大阪府警察との連携（支援対象事案情報提供） 情報提供数（R5実績：207件）

・地域ケア会議

・成年後見制度の利用促進

・虐待防止施策の推進

・民間協力事業者との連携

・チームオレンジ（認知症の人のニーズ等と認知症サポーターをつなぐ仕組み）の整備

認知症サポーターステップアップ研修（R5実績：1回）

・茨木市モデルの推進

若年性認知症の人への支援

・認知症ケアパスへ専門相談窓口の掲載

重点項目

- ・R7までにチームオレンジの整備に向けた取り組み
→認知症サポーター活動促進